

# 日本の学童ほいくニュース です

2006年3月 東京都学童保育連絡協議会 豊島区南大塚3-37-10  
 TEL 5951-2789 FAX 5951-2795  
 URL: <http://www.gakuho-tokyo.jp> E-mail: [gakuho@a.toshima.ne.jp](mailto:gakuho@a.toshima.ne.jp)

3月号の特集は「学童保育の『質』を考える」です。東京の学童保育が直面している問題です。大規模化、全児童対策事業への統合・吸収、児童館との一体的運営。質の問題、おおいに語りましょう。

## 今月号の一押し

### その1

#### 学童保育集の『質』を考える

#### 子どもたちとの信頼関係を築くため

目黒区不動児童館学童保育クラブ指導員 土屋晶子  
 土屋さんは、指導員の仕事として「子どもたち親との信頼関係を作ること」を大切にしています。一朝一夕ではできない信頼関係を築くためには、子どもたちや親の思いを受け止める側の指導員に気持ちの余裕や職員間での共通理解を深める準備が必要だと語っています。「学童保育の指導員は午後からの勤務で十分」という声がある中で、午前中の時間は、子どもたちが生き生きと学童保育に通えるために、そして親が安心して働くことができるために、大切な大切な時間なのだ伝えてくれています。

### その2

#### 「新BOP」－「全児童」対策の中の学童クラブ

世田谷区千歳小学校新BOP内学童クラブ保護者 花田佳代  
 単独学童クラブが行われていた時代を知らないという花田さんですが、『「新BOP」となって、評価できるところもあるけれどやはり大規模化は大きな問題である』と指摘されています。そして昨年、区から突然の見直し提案が……。その内容は学童クラブの実質的なBOP化というもの！署名活動や地域の方々への要請運動など、短期間の中でのがんばりにより提案の大部分を元に戻すことができたということです。どのような運営形態であっても「学童保育の役割をきちんと守って！！」これは、必要とする子どもたち、親たちの共通の願いなのです。

## 3月号の特集

### 学童保育の「質」を考える

#### 「座談会」よりよい学童保育とは

福島大学教授 大宮勇雄

さいたま市見沼小学童保育指導員 片山恵子

文京区保護者 栗原孝枝

編集部 真田祐



#### 子どもたちとの信頼関係を築くために

目黒区不動児童館学童保育クラブ指導員 土屋晶子

#### 本当の意味を学ぶために

名古屋市指導員 牧浩二

#### 「新BOP」－「全児童」対策の中の学童クラブ

世田谷区千歳小学校新BOP内学童クラブ保護者

花田佳代

#### 私たち親子の財産です

吹田市千一小学校のこ学級保護者 水谷秀子

#### 娘が体験した学童保育をこれからも

宗像市赤間小なかよしクラブ保護者 元満桂子

#### 安全出安心できる学童保育のために求められる基準づくり

全国学童保育連絡協議会事務局長 木田保男



## 今月の都連協人

### 特集・学童保育の「質」を考える

座談会・よりよい学童保育とは  
文京区保護者 栗原孝枝

### 特集・学童保育の「質」を考える

子どもたちとの信頼関係を築くために  
目黒区不動児童館学童保育クラブ指導員 土屋晶子

### 新BOP」－「全児童」対策の中の学童クラブ

世田谷区千歳小学校新BOP内学童クラブ保護者  
花田佳代

### 「どうしてどうして」

納豆はどうしてネバネバするのですか？  
文京区 佐治武蔵（2年）

ほいくニュース  
について

- ① ほいく誌の感想、このニュースへの意見、いろいろお寄せください。
- ② 作り手も募集しています。

## 今月号の一押しその2

### その1

読者のひろば・山口県学童保育講座に参加して  
坊府市指導員 水尻里美

学童保育についてもっと学びたいという思いで、大雪の中、講座に足を運んだ水尻さん。そんな一生懸命な水尻さんが、市の一方的な雇い止めの勧告で退職になるとのこと……とても胸が痛みます。大好きな仕事なのに、何で辞めさせられなければならないのだろう！水尻さんのように、悔しい思いをされている指導員がたくさんいるのです。学童保育指導員という仕事の社会的な確立を切に切に望みます。

### その2

講座 若者たちの「今」を知る―最終回―  
「私は私」と言えるようになるとき

横浜国立大学 中西新太郎

中西先生の講座が終わりました。コスプレと呼ばれる奇抜な衣装、ケータイやパソコンなどのネット世界における他者との交流……講座を通じて、大人たちには理解しがたい行動の中にある若者たちの孤独や叫びを見たような気がします。結構しんどい世界の中で、彼らなりに必死で生きていけたんだ……って。「文化の世界にも人がともに生きるうえで守るべき公正の感覚や尊厳の感覚が必要なことを大人はつたえるべきだ」「見守る」とは「それしかできない」のではない。「一緒にいるぞ、生きてるぞ」という深い呼びかけなんだ」「私たち大人はどんな文化を生活しているのか？排除や孤立の危険をくいとめ、ともに生きる豊かな文化を持っているのか？」若者たちの消費文化の世界に焦点を当てながら、中西先生は最終回で、私たち大人に静かなメッセージを投げかけたのではないのでしょうか。



### 次号予告 4月号

特集・春☆親子でようこそ学童保育

- ・学童保育の生活で大切にしたいこと
- ・先輩保護者からの励まし
- ・4月、我が家はこうして乗り切った！

ずいそう

たてかべ和也

講座・障害児の生活と発達への理解を深める

白石正久

子どもたちのまなざし

土佐いく子

試せばハマる家事のワザ

佐光紀子

カメラでこんにちは/父母会/仕事・職場のいま/わたしは指導員/クイズ/まんが/子どものひろば/読者のひろば/ほか